

平成30年度 学校評価アンケート（7月）

京都市立東山泉小中学校

京都市立東山泉小中学校学校運営協議会学校評価部会

東山泉小中学校学校運営協議会では、皆様のご意見やお考えを定期的に伺い、これからの中学校経営に生かしていきたいと考えています。以下のアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

それぞれの項目に「重要度」（どれくらい必要であるか？）と「達成度」（東山泉小中学校としてどのくらいできているか？）という2つの視点でご判断いただきお答えください。

4：とてもそう思う 3：そう思う 2：どちらかといえばそう思わない 1：そう思わない 0：わからない

4～0の該当すると思われる欄に○印をお付け下さい。

			重要度					達成度				
			4	3	2	1	0	4	3	2	1	0
「社会性を生き抜く力」「豊かな心育成」「健やかな身体」を育む	①	自分の意見や思いを筋道を整えてまとめ、相手に正しく分かりやすく伝える力（論理的思考力）を育成している。										
	②	主体的、対話的で、より深い学びを実現するために、9年間を通してコミュニケーション能力を育成している。										
	③	生命を大切にする心や他人を思いやる心、善惡の判断などの規範意識等を身に付けるために、道徳の授業の充実を図っている。										
	④	将来の夢を語ることができるようにするために、自分たちの地域を愛し、京都から日本へ、そして世界に目を向けた視点で考えを深める総合的な学習の時間の充実を図っている。										
	⑤	将来にわたってスポーツに親しむために、保健体育の授業、運動部活動等を通して、その資質や能力を育成している。										
	⑥	子どもたち自身が心身の健康を考え、自己管理の能力を身に付けるために、給食、「食育」の授業、「泉いきいきセミナー」「薬物乱用防止教室」等の取組を通して、健康教育の充実を図っている。										
	⑦	たくさんの情報から重要なものの選びだし、自ら問い合わせを立て、それを解決するために、他の人と協働しながら新たな価値を生み出していくための資質や能力を育成している。										
東山泉の『小中一貫教育』について	⑧	5・4制施設併用型の義務教育学校として、6年生から7年生への進級に対する不安を解消するために、教科担任制を取り入れるなどしてスムーズに移行できるように工夫している。										
	⑨	人と人との絆や人のために役立つことの大切さを実感するために、9学年の縦割り活動を通して、互いを認め合い、励まし合う集団作りを進めている。										
	⑩	9年間の学習をつなぐために、「学びのみちしるべ」（全学年の全教科・領域の授業計画や内容）や「学びのスタンダード」（共通した学習スタイル）をもとに、授業を進めている。										
	⑪	統合により東山泉校区（学区）となったが、学校と地域が互いに連携した教育活動に進めるために、3つの元学区自治会行事などへの参加を奨励している。										

その他、ご意見等があればご記入ください。

ご回答いただきましたアンケートは封筒・ファイルに入れていただき、担任にご提出下さい。
ご提出の期日は7月17日（火）とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

年保護者